

平成 27 年度 指定校連携 授業力アップ講座「算数・数学」

平成 28 年 1 月 20 日(水) 亀岡市立詳徳小学校 参加者：約 50 名

授業改善に向けた方策や優れた授業実践を管内の小・中学校へ広く普及し、教員の指導力、授業改善に向かう意欲の向上を図るとともに児童・生徒の学力向上を目指す指定校連携授業力アップ講座「算数・数学」を実施しました。



亀岡市立詳徳小学校 4 年生 2 組教室にて 笹岡 弘嗣 教諭に算数「変わり方」の授業を公開していただきました！



A：つなげる学習<やってみる>



B：とらえる学習<自分で考える・方法を知る>

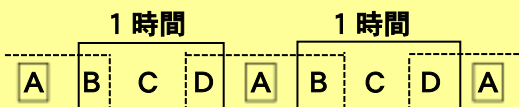


C：深める学習<考えを伝え合いみんなで学ぶ>



D：まとめる学習<まとめる・ふりかえる>

詳徳スタイル＝連続する 4 つの学習過程で 1 時間の学習が繋がっていく



※ A→B→C→D→A→B→C→D→A…



事後研究会では、小・中の先生方が一つのグループになって、活発な話し合いが行われました。

詳徳小学校から課題提起として研究推進について説明をしていただきました。

受講者の感想

詳徳小学校の研究推進が、児童の学力や意欲、生活から生まれたとても分かりやすい取組で感動しました。授業と授業を「つなぐ」学習として、家庭での予習・復習プリントがあり、また前回の振り返りを生かした目標設定もされ、まさに「つなぐ」授業が児童の意欲や落ち着き、自信にもつながっていると実感させられました。

今日の授業を参観させていただき、アクティブラーニングの大切さにさらに気づくことができましたし、詳しい内容も分かりました。

また、講義についても、実際に中 2 の学力診断テストをやってみて、読むだけでは難しいことが分かり、言葉をよく知らないと答えられないことも改めて分かりました。

小学校の授業を参観する機会も少ないので、とてもよい刺激をいただきました。改めて授業の準備・研究・反省の機会が大切だと気づけました。

算数科や数学科では、今回のように授業を通して単元の系統性や指導方法の違い、また展開の内容を小・中で連携することが最も効果的にできると思う。小・中両方の教員にとって意義深い研修にできると思う。